

中区の花チューリップ。チューリップはトルコが原産と言われていて「Lale(ラーレ)」はトルコ語でチューリップです。



今回は第二地区連合町内会の「花いっぱい運動」をご紹介します！

花を育てることは、景色を彩るだけではありません。人と人が自然につながり、誰もが安心して参加できる交流の場を育てる力があります。「花いっぱい運動」は、地域の皆さんがあなたと一緒に楽しみながら、笑顔と理解を育む、バリアフリーな交流の場づくりを目指しています。



誰もが参加できる地域活動



平成26年から「花いっぱい運動」は始まりました。みはらしポンテからみなと赤十字病院前の運河に花を植えて、遊歩道を綺麗にしたいという思いから第二地区連合町内会の皆さんを中心に、生活支援センター、みはらしポンテの地域活動ホームと生活支援センターの利用者と職員の皆さん、みはらし後援会、新山下地域ケアプラザ、第二地区社会福祉協議会、中区役所など、多くの力を合わせて活動しています。

11月19日(水)今回は計40名ほどの参加で、たくさんのチューリップの球根をプランターに植え、約200メートルほどの遊歩道に並べました。この活動を通じて、地域のつながりの輪も大きく広がっています。



みはらしポンテとは…

みはらしポンテは、障害のある方が利用する地域の福祉施設です。利用者のみなさんが地域とつながり、役割を持って活動できるよう、さまざまな取り組みを行っています。利用者のみなさんはフラワーレンジャーとして、週1回水やりなどを行い、花を育て、見守ってくれています。



「施設も地域の一員として、ボランティア活動に参加でき、利用者にとっては自分の役割ができた達成感につながっています。ボランティア後も地域の方々が利用者を見守ってくれているのを実感しています」
(みはらしポンテ・職員)

第二地区連合町内会 松澤秀夫会長にインタビュー

遊歩道の利用者は通院や買い物の方、保育園児など1日約2000人。「たくさんの方々に気持ちよく利用してもらいたい」という思いから活動を始めました。立場は違っても同じ地域で暮らし、施設を利用している皆さんで、より良い地域を作りたいという思いは同じだと思っています。」



Lale バックナンバーは
こちらから ⇒⇒⇒

